

令和6年度第1回連携中枢都市圏ビジョン懇談会 事前意見一覧

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
1	資料1-1 P3 事業番号13	<農業IT化促進事業> R5実績値0、進捗率が0.0%の要因は何か？	大変申し訳ございません。令和5年度の実績値に誤りがございました。正しくは、以下のとおりです。（参照：当日配布資料3） R5実績値：11人、進捗率：55% 主にドローンの普及に係る研修会について実施してきたところですが、スマート農業に関心を持つ農家の参加は概ね達成されており、研修内容が過去の研修と類似していることから参加を見合わせられたこと、開催時期が農家のニーズに合わなかったことがKPI未達の主な要因と考えています。今後は関係機関とも連携して対象者に配慮した開催時期・スマート農業機器だけではなく支援システムなどのソフトの活用といった、ハード・ソフト両面をPRできる研修内容とするよう創意工夫してまいります。	鳥取市農林水産部農政企画課	中野委員
2	資料1-1 P8 事業番号46	<点訳朗読奉仕員養成研修事業> R5実績値0、進捗率が0.0%で、「養成講習会開催を見送り、現任奉仕員のスキルアップを図った」との説明だが、具体的な実績は？	毎月1回の頻度で研修を実施し、内容を十分理解するとともに図書製作が順調に出来るよう（1人につき年2～3冊）レベルアップが図れました。また、地域の所属ボランティアグループを通じた朗読指導等も行い全体的なスキルアップを図りました。	鳥取市福祉部障がい福祉課	中野委員
3	資料2-1 P4 事業番号19	<駅前太平線バード・ハット利用促進事業> R6.9月実績値0 進捗0.0% 要因は？ 当初予算はいくらか？ R5年は、新温泉町PRブース開催、八頭町特産品ブースとして利用があった。交流人口の増加を図ることが目的の事業のため、「因幡・但馬麒麟のまち」に参加している1市6町が年1回は利用するというように計画してはどうか。 また、イベントを定着させるため、例えば4月～11月の第3日曜日にイベントを行うといったように、定期開催にしたら、イベントに出向く市民&町民が増え、交流人口も増える可能性があるのではと考える。	連携事業に特化した予算計上はありませんが、バード・ハットの維持管理やイベント企画等を行っている、新鳥取駅前地区商店街振興組合に対して、圏域連携イベントの企画立案をお願いしております。 令和6年9月時点では、連携イベントの実施には至らず、実績がないことを踏まえ、当該団体とは、より積極的に麒麟のまち圏域からの出店を呼び込むことなどについて協議しているところであり、いただいたご提案も参考にしながら、検討を進めてまいりたいと考えています。	鳥取市都市整備部まちなか未来創造課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
4	資料2-1 P5 事業番号23	<p><因幡・北但西部周遊バス運行支援事業> 進捗状況が25.1%である。R5年度の実績も、「申込少数にて催行中止」となっている日がある。 要因は？ 分析は？ 当初予算はいくらか？</p>	<p>本事業は主に県外からの個人観光客を対象にした着地型バスツアーとして（一社）鳥取市観光コンベンション協会が企画・運行しているもので、本市や周遊先となる自治体からの負担金、県補助金等を主な財源としています。令和6年度の予算額は県補助金920千円、市町負担金1,843千円（うち1,567千円は鳥取市）、参加費収入2,040千円を見込み、事業費の総額は4,803千円となっています。 低調な利用となっていることについては、広報宣伝の不足や子ども料金を設定していないことなどが主な要因と分析しています。 令和6年度は、ウェブによる積極的な広報と販売、夏休み期間中の子ども料金設定（1,000円/人）を行ったことで、催行本数は昨年の13回から20回に増加し、参加者の平均も昨年の10人から17人と徐々に改善してきているところで</p>	鳥取市経済観光部観光・ジオパーク推進課	中野委員
5	資料2-1 P6 事業番号24	<p><浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業> 進捗状況が21.9%である。申込少数にて催行中止」となっている日がある。 要因は？ 分析は？ 当初予算はいくらか？</p>	<p>令和6年度のボンネットバスツアーは、11月9日に全予定が終了しました。全10回のうち、バス愛好家さんコースは2/2回催行、アニメコース（青・赤）は4/8回催行となりました。アニメコースの不催行は全て申込人数少数によります。 アニメコース申込人数の減少の要因として、以下の2点が考えられます。 ①初めてロケ参考地巡りをするファンの減少 ボンネットバスツアーアニメコース（青・赤）は代表的な見どころを効率よく巡ることができることから、初めてロケ参考地巡りを行うファンに好評なツアーです。しかし、アニメ放送開始から10年以上経過している現在、以前と比べ初めて鳥取市や岩美町に訪れるファンが減少し、それに伴いアニメコースの申込も少なくなったものと思われます。 ②アニメ公式イベントとの兼ね合い 主人公の誕生日である6月30日にアニメツアーを予定していましたが、関東で開催された主人公バースデーイベントとバッティングしてしまったため申込少数となったと考えられます。 また、来年5月に鳥取市及び岩美町でアニメ公式イベントが開催されるため、令和6年度中の岩美町への旅行控えが発生したものと思われます。</p> <p>当初予算額は1,950千円です。</p>	岩美町商工観光課	中野委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
6	資料2-1 P10 事業番号46	<点訳朗読奉仕員養成研修事業> R6.9末実績値0 進捗0.0% 要因は？	今年度の開催は県西部での開催であることから、東部地域からの参加がなかったものです。なお、開催については東部、中部、西部順番で開催しております。	鳥取市福祉部 障がい福祉課	中野委員
7	資料2-1 P10 事業番号52	<森のようちえん運営・活用事業> KPI指標が、平成22年度からの延べ人数になっている。 R6のみの単年度の人数すべきではないかと思うが見解を。	単年度の移住者数を指標とし、より達成度を評価しやすくする方向で検討したいと考えます。	鳥取市健康こども部こども家庭局幼児保育課	中野委員
8	資料2-1 P8 事業番号36	<山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業> 要望活動は、数回で終わるのではなく、再三行うべきである。 また、令和5年度はシンポジウムをやっていないが、要望するうえでも県民の盛り上がりが必要である。シンポジウムを行い、県民を巻き込むべきである。県民への広報活動に力を入れていただきたい。	山陰新幹線整備促進の要望活動等は鳥取市長が会長である「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」（以下「会議」という。）において実施しています。新型コロナウイルス流行以前には鳥取市、松江市、舞鶴市で山陰新幹線の早期実現を求める決起大会を開催し、整備に向けた機運醸成を図ってまいりましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響もありシンポジウム等の開催が見送られてきました。今年度は山陰新幹線整備に係る調査研究を実施し、まずはその結果を勉強会という形で、沿線自治体で構成する会議の会員で共有したいと考えております。また、会議としても山陰新幹線整備を促進していくためには住民の方の機運醸成が重要と考えており、今後もシンポジウム等を通じ、整備実現に向けた活動を推進していきたいと考えております。	鳥取市都市整備部都市企画課	平井委員

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
9	資料1 「2 分野ごとの重要業績評価指標（KPI）の状況」	指標の状況を見て、令和5年度全体の執行状況をどのように分析・評価しているのかお聞きしたい。指標だけでなく、それをどのように捉えているか、説明資料として提供すべきと考える。	令和5年度のKPI達成状況は、達成した事業が全体の53%、75～100%未満が25%で全体の78%となっており、概ね順調であると考えております。また、KPI未達事業につきましては、要因等を検討しながら達成に向け各担当課が取り組んでいるところです。いただいたご意見を踏まえ、お示しする資料等につきましては、引き続き研究してまいりたいと考えております。	鳥取市企画推進部政策企画課	平井委員
10	資料1-1 各事業の「成果と課題」	各事業の記載内容がバラバラである。「成果と課題」の内容になっていない記載が多い。大変理解しづらい。記載の仕方を統一していただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ、分かりやすい記載となるよう研究し取り組んでまいりたいと考えております。	鳥取市企画推進部政策企画課	平井委員
11	資料2、2-1	令和6年9月末時点の事業進捗状況をあげているが、前年度同期の比較もないし、事業ごとに前期後期のウエイトが違うだろうから、何をどう判断すればよいか分からない。事務局はどのように分析・評価しているのか、お聞きしたい。新規事業の説明のためなら、その事業を抜粋すればよいと思う。資料として必要ないと考える。	ご指摘のように、事業ごとに進捗度合いは異なりますが、9月末時点の進捗状況を把握することで、各担当課は改善等を検討しながら、年度目標の達成に向け事業を進めています。また、本懇談会で委員の皆さまに御意見をいただき、さらなる事業の推進につなげてまいりたいと考えております。	鳥取市企画推進部政策企画課	平井委員